

## 国際バルク戦略港湾の関係企業による 石炭の共同輸送の予定・実績

### ＜予 定＞

- 現在、情報はありません。

### ＜実 績＞

#### [2021年度(令和3年度)]

- **【更新】A社・東ソー(株)(共同輸送・二港揚げ)**

積出港	ニューキャッスル港(オーストラリア)
出発時期	令和3年6月18日
荷揚港	山口県外の港
到着時期	令和3年7月4日
荷揚港	徳山下松港(新南陽地区)
到着時期	令和3年7月13日
輸送量	約6万トン(A社:約4万トン、東ソー:約2万トン)
輸送船	6万トン級スープラマックス船

#### [2020年度(令和2年度)]

- **A社・東ソー(株)(共同輸送・二港揚げ)**

積出港	ニューキャッスル港(オーストラリア)
出発時期	令和2年10月27日
荷揚港	山口県外の港
到着時期	令和2年11月12日
荷揚港	徳山下松港(新南陽地区)
到着時期	令和2年11月16日
輸送量	約8万トン(A社:約2万トン、東ソー:約6万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

- **A社・(株)トクヤマ(共同輸送)**

積出港	タボネオ沖(インドネシア)
出発時期	令和2年5月12日
荷揚港	徳山下松港(徳山地区)
到着時期	令和2年5月24日
輸送量	約5.5万トン(A社:約5千トン、トクヤマ:約5万トン)
輸送船	5万トン級パナマックス船

■ 出光興産(株)・(株)トクヤマ (共同輸送)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	令和2年3月23日
荷揚港	徳山下松港 (徳山地区)
到着時期	令和2年4月12日
輸送量	約8万トン (出光興産:約4万トン、トクヤマ:約4万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

[2019年度 (令和元年度)]

■ 四国電力(株)・(株)トクヤマ (共同輸送)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	令和元年11月24日
荷揚港	徳山下松港 (徳山地区)
到着時期	令和元年12月10日
輸送量	約7万トン (四国電力:約4万トン、トクヤマ:約3万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

■ 宇部興産(株)・中国電力(株) (共同輸送)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	令和元年11月9日
荷揚港	宇部港
到着時期	令和元年11月23日
輸送量	約7万トン (宇部興産:約2.5万トン、中国電力:約4.5万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

■ 宇部興産(株)・中国電力(株) (共同輸送・二港積み)

積出港	タボネオ沖 (インドネシア)
出発時期	令和元年9月10日
積出港	ムアラパンタイ沖 (インドネシア)
出発時期	令和元年9月14日
荷揚港	宇部港
到着時期	令和元年9月24日
輸送量	約2万トン (宇部興産:約1万トン、中国電力:約1万トン)
輸送船	2.8万トン級 ハンディサイズ船

■ 出光興産(株)・東ソー(株) (共同輸送・二港揚げ)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	令和元年7月24日
荷揚港	新居浜港
到着時期	令和元年8月11日
荷揚港	徳山下松港 (新南陽地区)
到着時期	令和元年8月16日
輸送量	約7万トン (出光興産:約2万トン、東ソー:約5万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

[2018年度 (平成30年度)]

■ 宇部興産(株)・中国電力(株) (共同輸送)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	平成31年2月6日
荷揚港	宇部港
到着時期	平成31年2月22日
輸送量	約7万トン (宇部興産 約3万トン 中国電力 約4万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

■ 出光興産(株)・東ソー(株) (共同輸送・二港揚げ)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	平成30年11月24日
荷揚港	徳山下松港 (徳山地区)
到着時期	平成30年12月14日
荷揚港	徳山下松港 (新南陽地区)
到着時期	平成30年12月16日
輸送量	約7万トン (出光興産:約2万トン、東ソー:約5万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

■ 中国電力(株)・四国電力(株) (共同輸送)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	平成30年11月28日
荷揚港	宇部港
到着時期	平成30年12月17日
輸送量	約7万トン (中国電力:約4万トン、四国電力:約3万トン)
輸送船	8万トン級パナマックス船

■ A社・東ソー（株）（共同輸送・二港揚げ）

積出港	ニューキャッスル港（オーストラリア）
出発時期	平成30年10月13日
荷揚げ港	徳山下松港以外の港
到着時期	平成30年11月上旬
荷揚げ港	徳山下松港（新南陽地区）
到着時期	平成30年11月7日
輸送量	約7万トン（A社：約3万トン、東ソー：約4万トン）
輸送船	8万トン級パナマックス船

※当社の株主でない企業の情報については、一部情報を伏せて掲載しています。

■ 出光興産（株）・東ソー（株）（共同輸送・二港揚げ）

積出港	ニューキャッスル港（オーストラリア）
出発時期	平成30年9月16日
荷揚げ港	徳山下松港（徳山地区）
到着時期	平成30年10月8日
荷揚げ港	徳山下松港（新南陽地区）
到着時期	平成30年10月18日
輸送量	約7万トン（出光興産：約2万トン、東ソー：約5万トン）
輸送船	8万トン級パナマックス船

■ 宇部興産（株）・中国電力（株）（共同輸送）

積出港	ニューキャッスル港（オーストラリア）
出発時期	平成30年8月22日
荷揚げ港	宇部港
到着時期	平成30年9月8日
輸送量	約6.5万トン（宇部興産：約4.5万トン、中国電力：約2万トン）
輸送船	8万トン級パナマックス船

[2017年度（平成29年度）]

■ 宇部興産（株）・中国電力（株）（共同輸送）

積出港	バンジャルマシン沖（インドネシア）
出発時期	平成29年12月31日
荷揚げ港	宇部港
到着時期	平成30年1月11日
輸送量	約7万トン（宇部興産：約5万トン、中国電力：約2万トン）
輸送船	8万トン級パナマックス船

■ B社・(株) トクヤマ (共同輸送)

積出港	グラッドストーン港 (オーストラリア)
出発時期	平成 29 年 11 月 22 日
荷揚港	徳山下松港 (徳山地区)
到着時期	平成 29 年 12 月 11 日
輸送量	約 9 万トン (B社: 約 1 万トン、トクヤマ: 約 8 万トン)
輸送船	9 万トン級パナマックス船

■ A社・(株) トクヤマ (共同輸送)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	平成 29 年 9 月 6 日
荷揚港	徳山下松港 (徳山地区)
到着時期	平成 29 年 9 月 26 日
輸送量	約 9 万トン (A社: 約 1 万トン、トクヤマ: 約 8 万トン)
輸送船	9 万トン級パナマックス船

[ 2016 年度 (平成 28 年度) ]

■ 中国電力 (株) ・ 四国電力 (株) (共同輸送)

積出港	バンジャルマシン沖 (インドネシア)
出発時期	平成 29 年 1 月 15 日
荷揚港	宇部港
到着時期	平成 29 年 1 月 26 日
輸送量	約 7 万トン (中国電力: 約 3 万トン、四国電力: 約 4 万トン)
輸送船	8 万トン級パナマックス船

■ 中国電力 (株) ・ 東ソー (株) (共同輸送・二港揚げ)

積出港	ニューキャッスル港 (オーストラリア)
出発時期	平成 28 年 9 月 15 日
荷揚港	宇部港
到着時期	平成 28 年 9 月 30 日
荷揚港	徳山下松港 (新南陽地区)
到着時期	平成 28 年 10 月 2 日
輸送量	約 7 万トン (中国電力: 約 2 万トン、東ソー: 約 5 万トン)
輸送船	8 万トン級パナマックス船

[2015年度（平成27年度）]

■ 中国電力（株）・宇部興産（株）（共同輸送）

積出港	タラハン港（インドネシア）
出発時期	平成28年3月1日
荷揚港	宇部港
到着時期	平成28年3月14日
輸送量	約6万トン（中国電力：約3.5万トン、宇部興産：約2.5万トン）
輸送船	6万トン級パナマックス船

■ 中国電力（株）・（株）トクヤマ・出光興産（株）（共同輸送）

積出港	ニューキャッスル港（オーストラリア）
出発時期	平成27年12月11日
荷揚港	徳山下松港（徳山地区）
到着時期	平成27年12月28日
輸送量	約8万トン（中国電力：約5万トン、トクヤマ・出光興産：約3万トン）

■ （株）トクヤマ・出光興産（株）（共同輸送・二港揚げ）

積出港	ニューキャッスル港（オーストラリア）
出発時期	平成27年6月2日
荷揚港	徳山下松港（徳山地区）及び他港
到着時期	平成27年6月18日
輸送量	約6万トン（トクヤマ：約2万トン、出光興産：約4万トン）

[2014年度（平成26年度）]

■ 中国電力（株）・宇部興産（株）（共同輸送・二港揚げ）

積出港	ニューキャッスル港（オーストラリア）
出発時期	平成26年12月23日
荷揚港	徳山下松港（下松地区）
到着時期	平成27年1月8日
荷揚港	宇部港
到着時期	平成27年1月10日
輸送量	約10万トン（中国電力：約6.5万トン、宇部興産：約3.5万トン）
輸送船	10万トン級スモールケープ船

■ 宇部興産（株）・中国電力（株）（共同輸送）

積出港	サマリダ沖（インドネシア）
出発時期	平成26年12月4日
荷揚港	宇部港
到着時期	平成26年12月13日
輸送量	約7万トン（宇部興産：約4万トン、中国電力：約3万トン）
輸送船	7万トン級パナマックス船

※これらは当社が把握している事例であり、石炭の共同輸送の予定・実績の全ての事例を網羅したものではありません。